

PR TIMES

2016年度通期決算 説明資料

2017年4月13日

01

2016年度 通期決算

02

2016年度第4四半期 四半期決算

03

2016年度第4四半期 サービス動向

04

2017年度 業績予想

05

2020年度に向けた展望

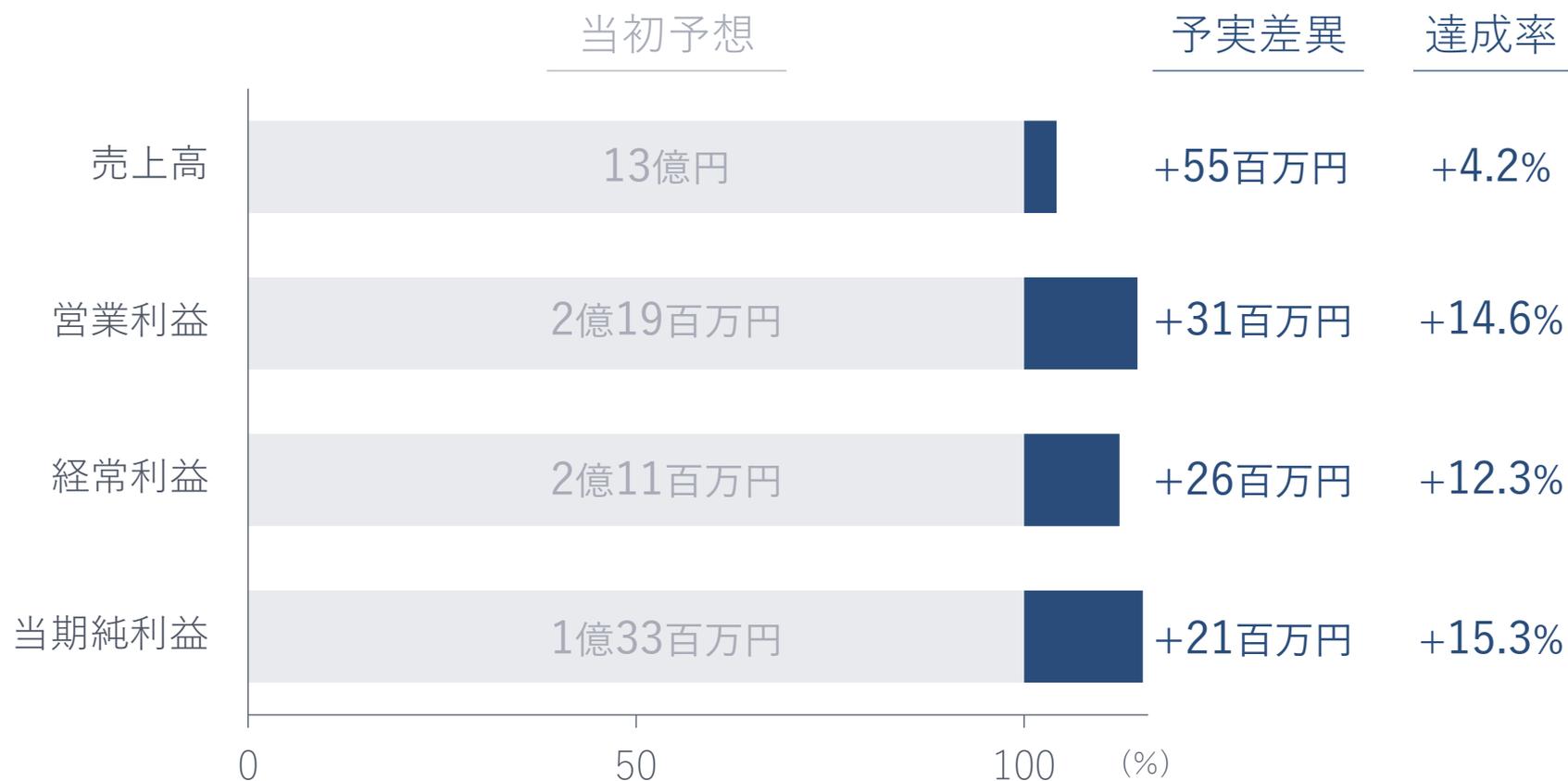
| 2016年度通期実績

	2016年度	2015年度	前期比
売上高	13億55百万円	10億80百万円	125.5%
営業利益	2億50百万円	1億80百万円	139.3%
経常利益	2億37百万円	1億76百万円	135.0%
当期純利益	1億54百万円	1億14百万円	134.8%

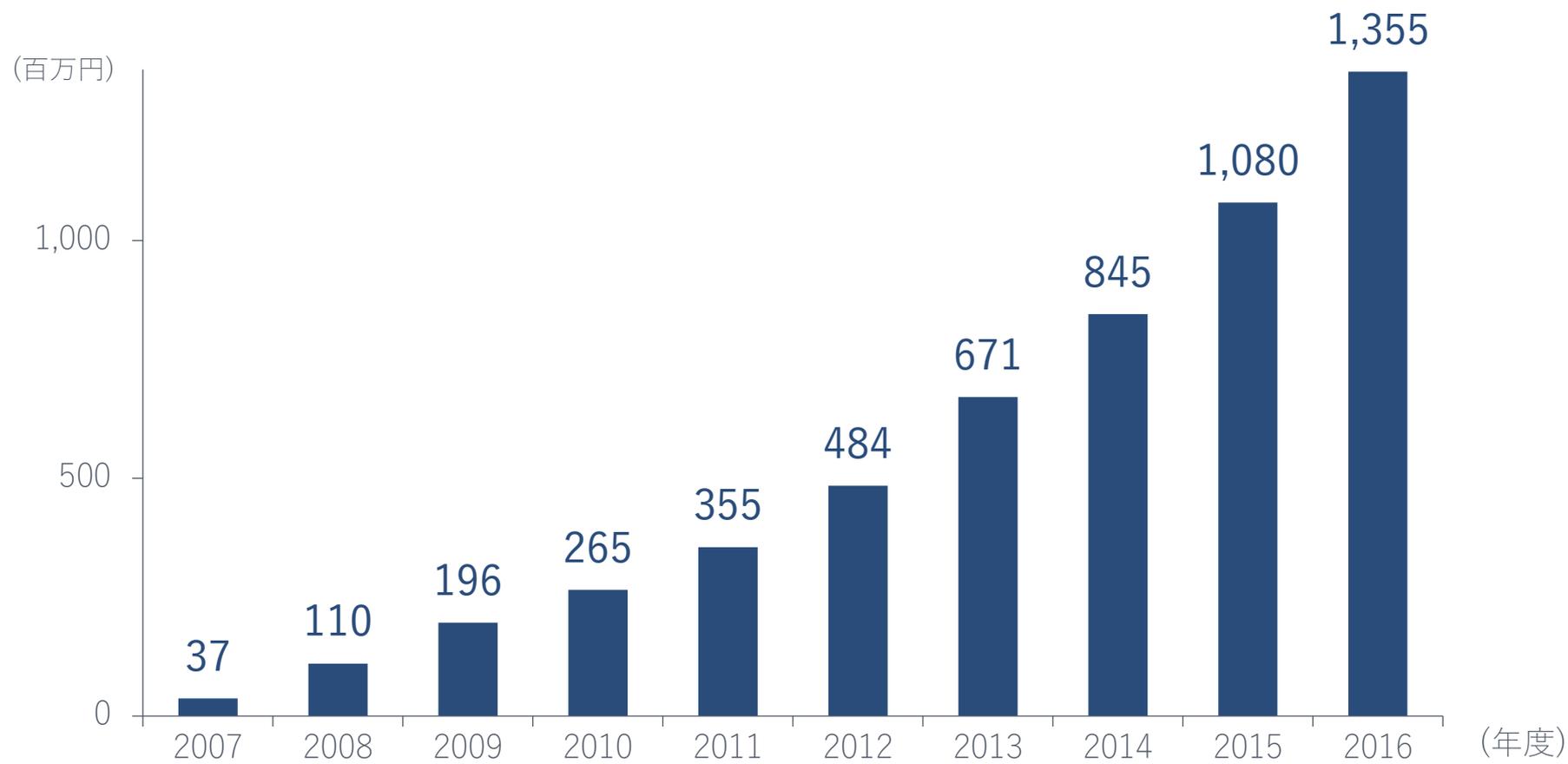
| トピックス

- 2016年3月31日に東京証券取引所マザーズ市場へ新規上場
- ホープと2016年11月に提携、地方自治体広報のネット活用を推進
- 2016年10月に子会社PRリサーチを設立、2017年1月にサービス開始
- PR TIMESの利用企業社数が**16,000社**を突破、上場企業の**30%超**が利用
- PR TIMESのパートナーメディアを**68媒体から94媒体**へ拡充

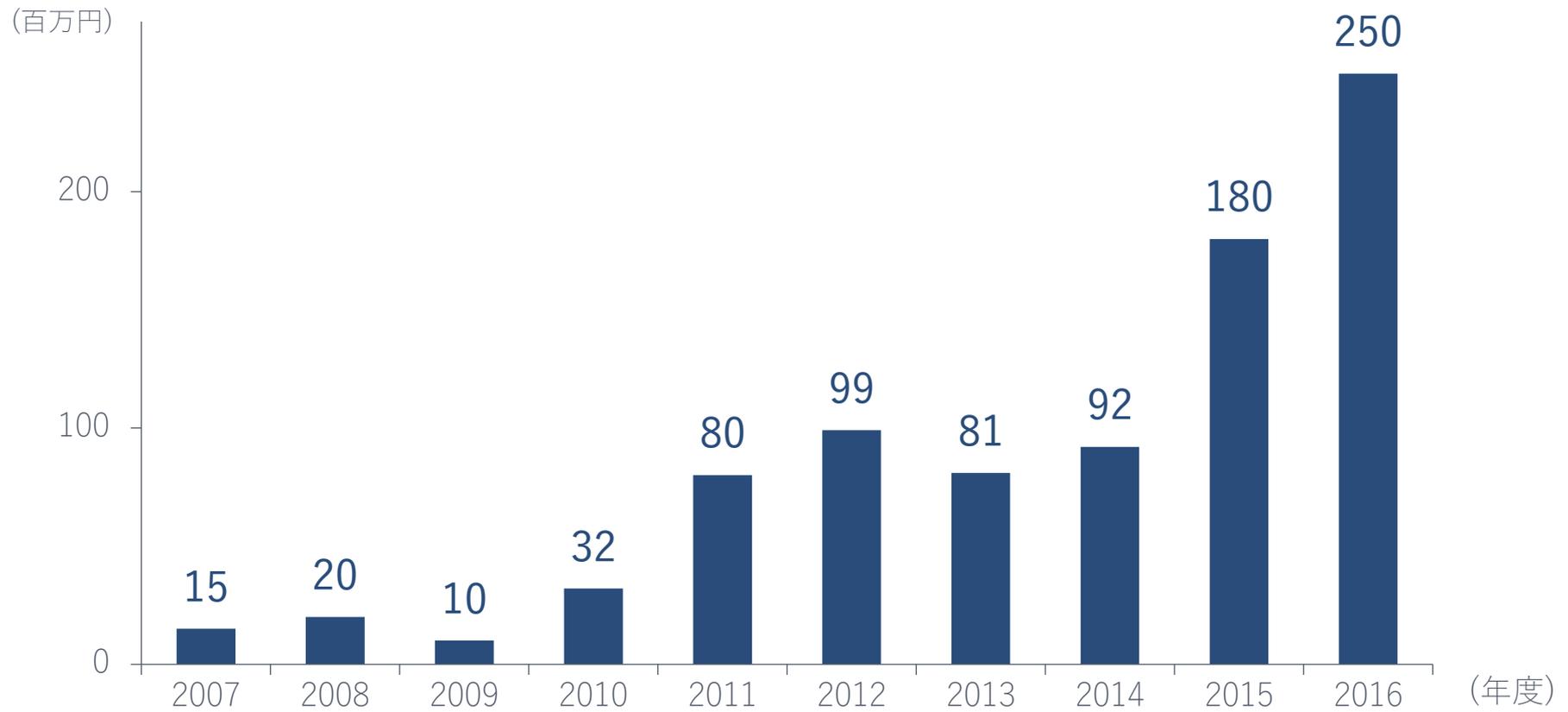
■ 2016年4月13日発表の通期業績予想を、売上高・各利益において大幅達成



■ サービス開始以来、10期連続で25%超成長を達成



- サービス開始以来、10期連続で営業黒字を計上
- 2013-14年度の上場準備期間を経て、2期連続で高成長を実現



■ 上場に伴う資金調達により、現預金残高が10億円を突破

(単位：百万円)

	2016年度	2015年度	前年同期比
流動資産	1,301	461	282.1%
（内、現預金）	1,121	250	448.3%
固定資産	262	280	93.8%
総資産	1,564	741	211.0%
流動負債	244	298	81.8%
固定負債	4	4	86.5%
純資産	1,315	437	300.6%

01

2016年度 通期決算

02

2016年度第4四半期 四半期決算

03

2016年度第4四半期 サービス動向

04

2017年度 業績予想

05

2020年度に向けた展望

■ 売上高3億3千6百万円、営業利益2千4百万円、ともに4Qとして過去最高を更新

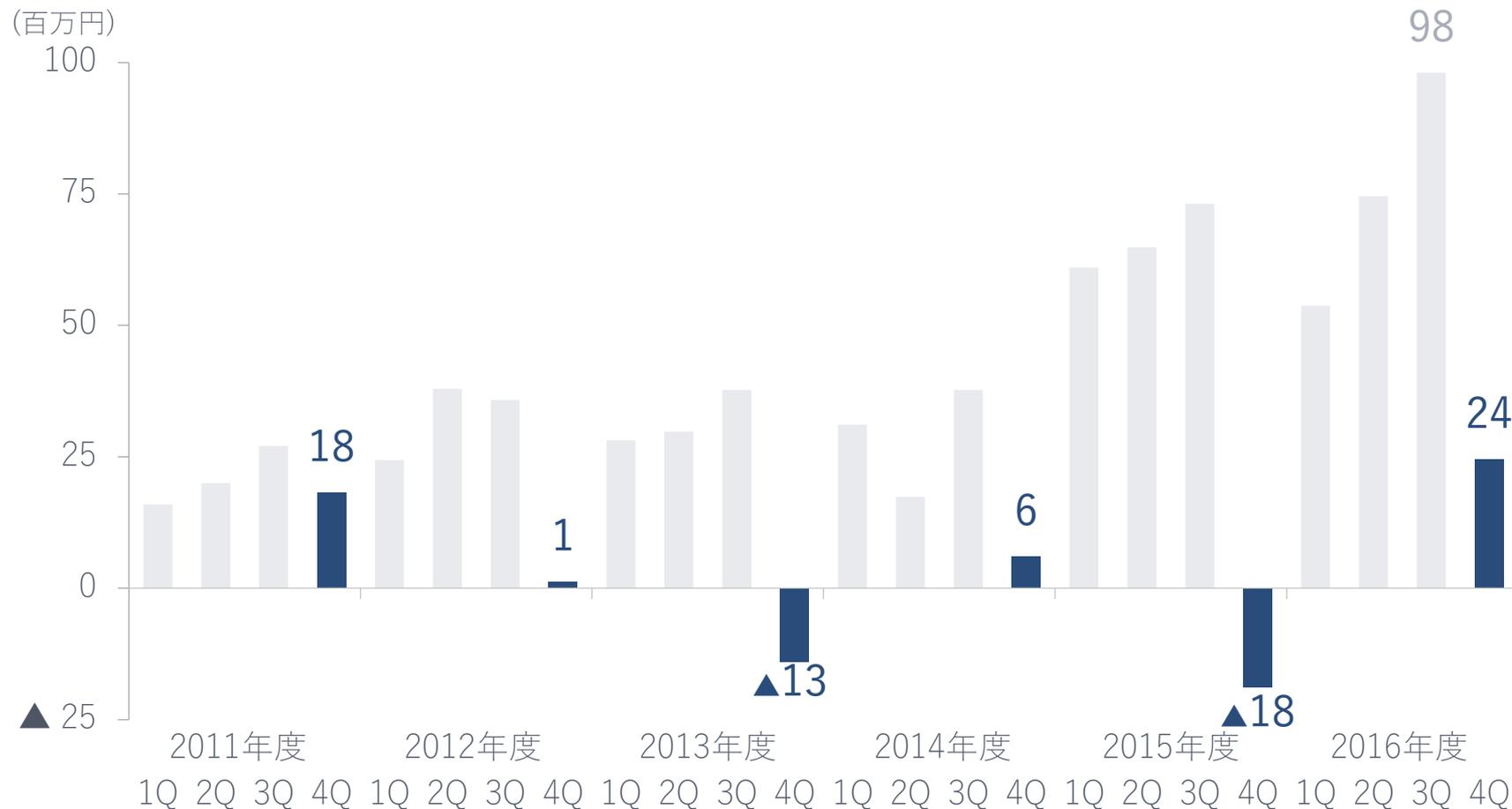
(単位：百万円)

	2016年度	2015年度	前年同期比 (YoY)	2016年度	前四半期比 (QonQ)
	4Q	4Q		3Q	
売上高	336	275	121.8%	374	89.8%
売上総利益	254	213	119.3%	296	85.6%
(粗利率)	(75.6%)	(77.2%)	—	(79.3%)	—
販売管理費	229	231	99.0%	198	115.5%
営業利益	24	▲18	黒転	98	25.0%
経常利益	24	▲18	黒転	98	25.1%
当期純利益	12	▲11	黒転	64	19.9%

- 売上高3億3千6百万円（前年同期比121.8%、前四半期比89.8%）
- 堅調な成長基調を継続、第4四半期としては過去最高を更新



- 営業利益2千4百万円（前年同期比黒字転換、前四半期比25.0%）
- 先行投資を吸収し、第4四半期としては過去最高を更新



01

2016年度 通期決算

02

2016年度第4四半期 四半期決算

03

2016年度第4四半期 サービス動向

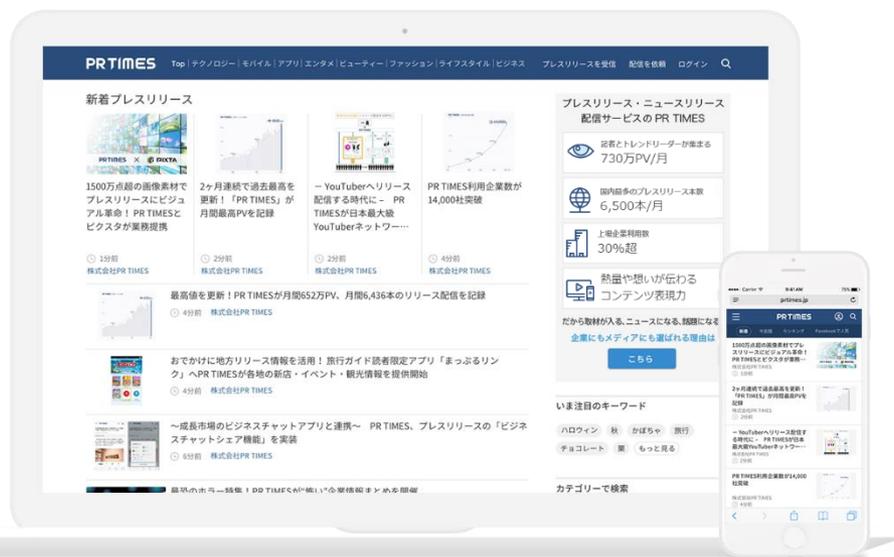
04

2017年度 業績予想

05

2020年度に向けた展望

従来のプレスリリースの枠を超え、企業とメディアそして生活者を ニュースでつなぐインターネットサービスへ



利用企業社数	16,518社
国内上場企業利用率	31.0% (1,134社/3,654社)
プレスリリース数	6,986本/月 (2016.9)
配信メディアリスト	12,116媒体
パートナーメディア	94媒体
サイトページビュー	738万PV/月 (2016.9)
SNSアカウント	Facebook 100,000 Twitter 40,000

※2017年2月末時点

■ PR TIMESの利用価値のひとつはパブリシティ獲得、当社の実績でも実証



TV 3媒体

BSスカパー、TOKYO MX、
読売テレビ



ラジオ 1媒体

ラジオ日本



雑誌 4媒体

GrandStyle、月刊BOSS、
月刊広報会議、財界



新聞 10媒体

朝日新聞、日刊ゲンダイ、日経MJ、フジサンケイビジネスアイ、文化通信、伊勢新聞、西日本新聞、
読売新聞、日本経済新聞、日本情報産業新聞



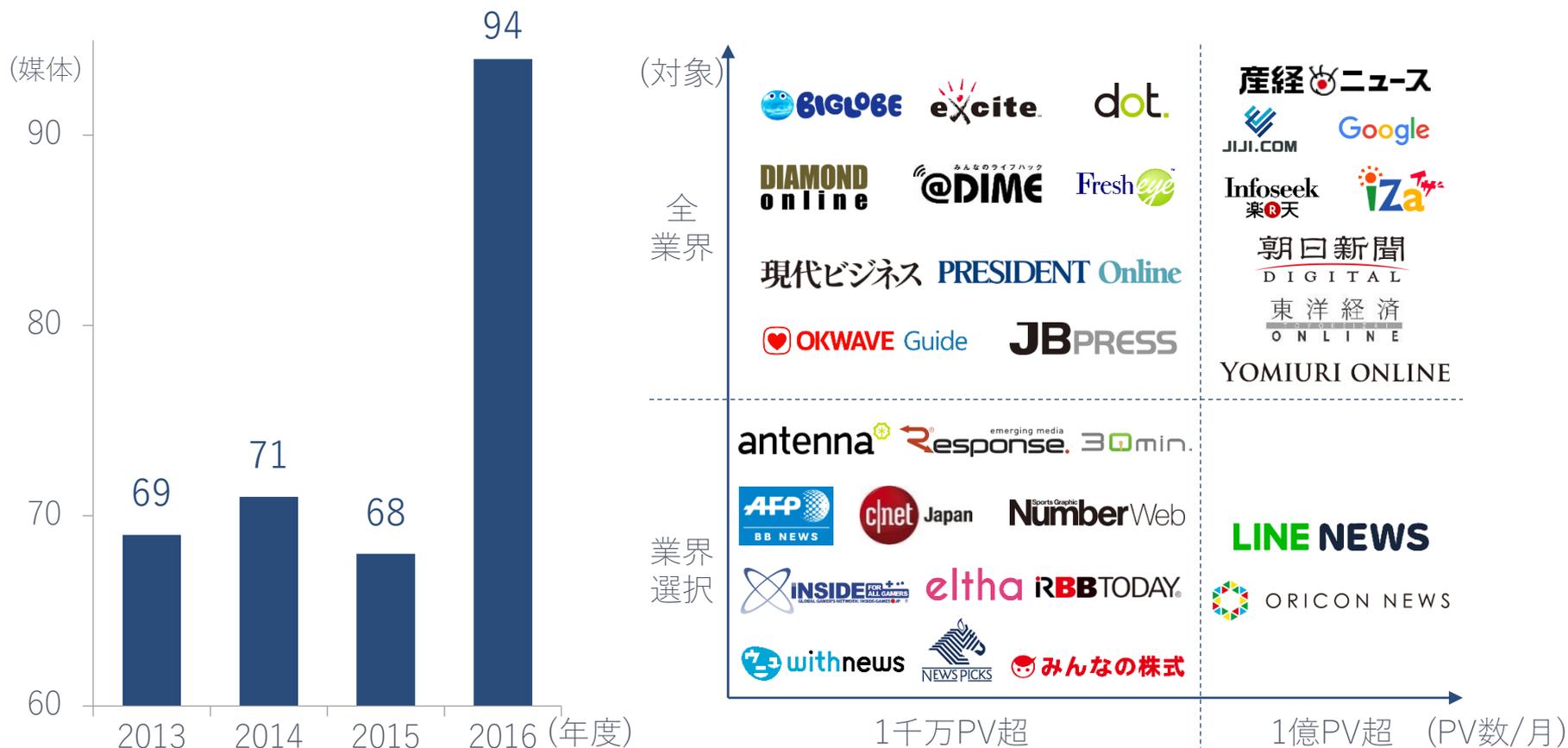
Web 39媒体

Advertimes、All About、APPREVIEW、ASCII.jp、CNET Japan、Code部、ECのミカタ、ferret、
Gamebusiness.jp、ITmedia PC USER、ITmedia マーケティング、Ketchapp、M&A Times、
MarkeZine、movieTIMES、OVO、PANORA、Pedia News、SankeiBiz、SeleQt、Senses Lab.、
SHOKUMIRU、TechHub、THE BRIDGE、Venture Times、vsmedia、Web担当者Forum、
with online、ZDNet Japan、あおぞらVR、サーチナ、日経デジタルマーケティング、
はてなニュース、マイナビニュース、マイライフニュース、モーニングスター、創業手帳web、
東京IT新聞、@DIME

- Yahoo!ニュース、livedoorニュース、SmartNews、LINE NEWS、NewsPicks、Antennaなどに転載されたパブリシティは省略。
- 当社の株価に関連したパブリシティは対象外。

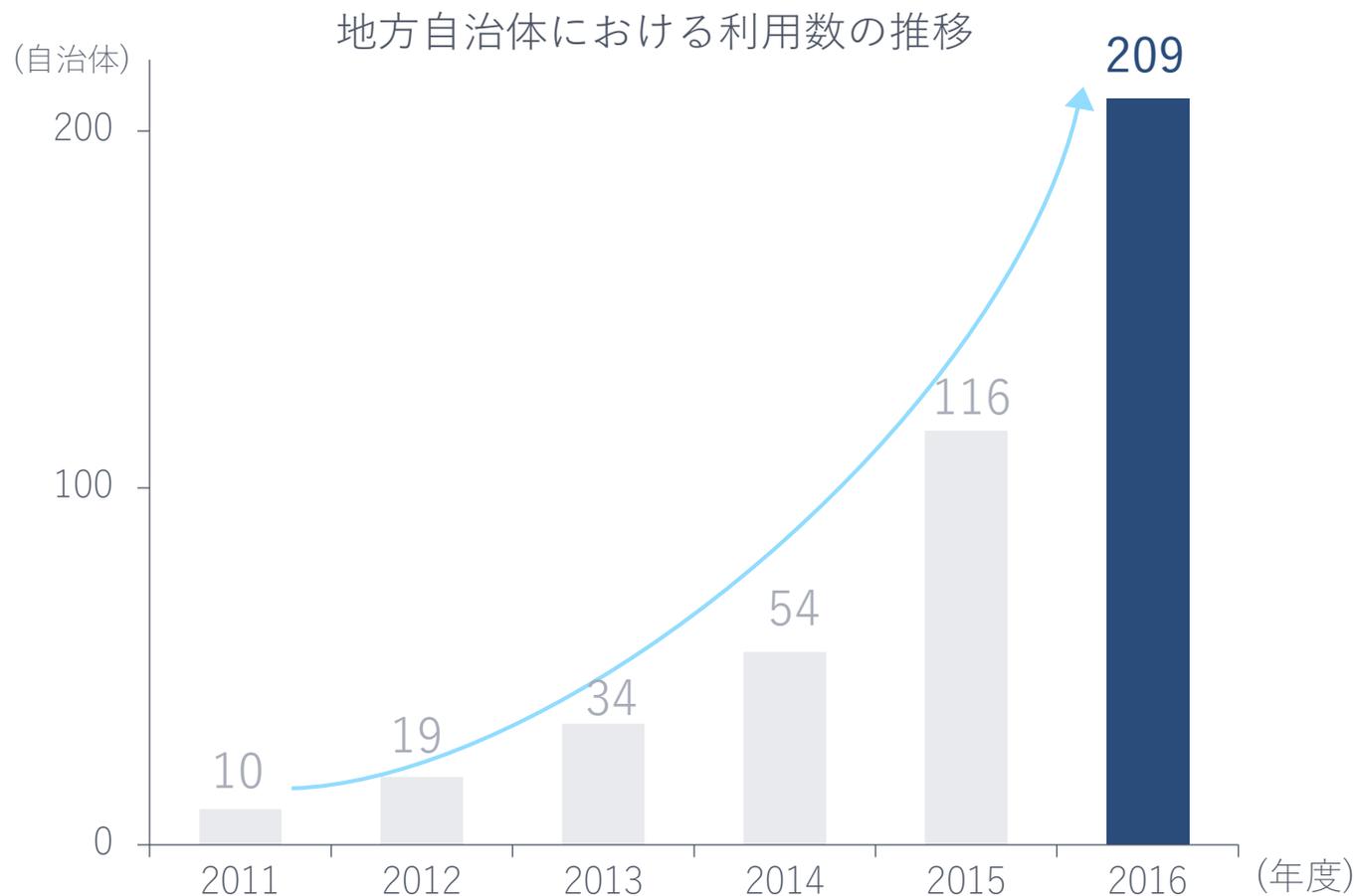
(2016年3月～2017年2月、媒体名五十音順)

- 月間1億PV超10媒体、1千万PV超22媒体含む94媒体にプレスリリースを転載
- 企業のニュースが直接リーチする生活者を増大させ、サービス利用価値が向上



※2017年2月末時点

- 伊勢志摩サミットでPR TIMESの活用が報道される等、地方創生にも貢献
- ホープと業務提携を機に地方自治体の利用が加速、200自治体を突破



伊勢新聞(2016年5月21日付)
PR TIMESの活用を紹介

- 日本有数のベンチャーキャピタル、ファンド、インキュベーター計27社と提携

Samurai
Incubate
Inc.

SKYLAND
VENTURES

Open Network Lab

OG INCUBATION

IBM
blue
hub

500

East Ventures

YJ Capital

Infinity Venture Partners

Beyond Next Ventures

F Ventures

SLOGAN COENT

CyberAgent
Ventures

DOGAN

FINOLAB
THE FINTECH CENTER of TOKYO

colopl next

CODEREPUBLIC

TECH
LAB
PAAK

TECH
FUND

KII
KEIO
INNOVATION
INITIATIVE

HARDWARE
CLUB

JAFECO

GLOBIS
CAPITAL
PARTNERS

HM

UTokyo IPC

anri

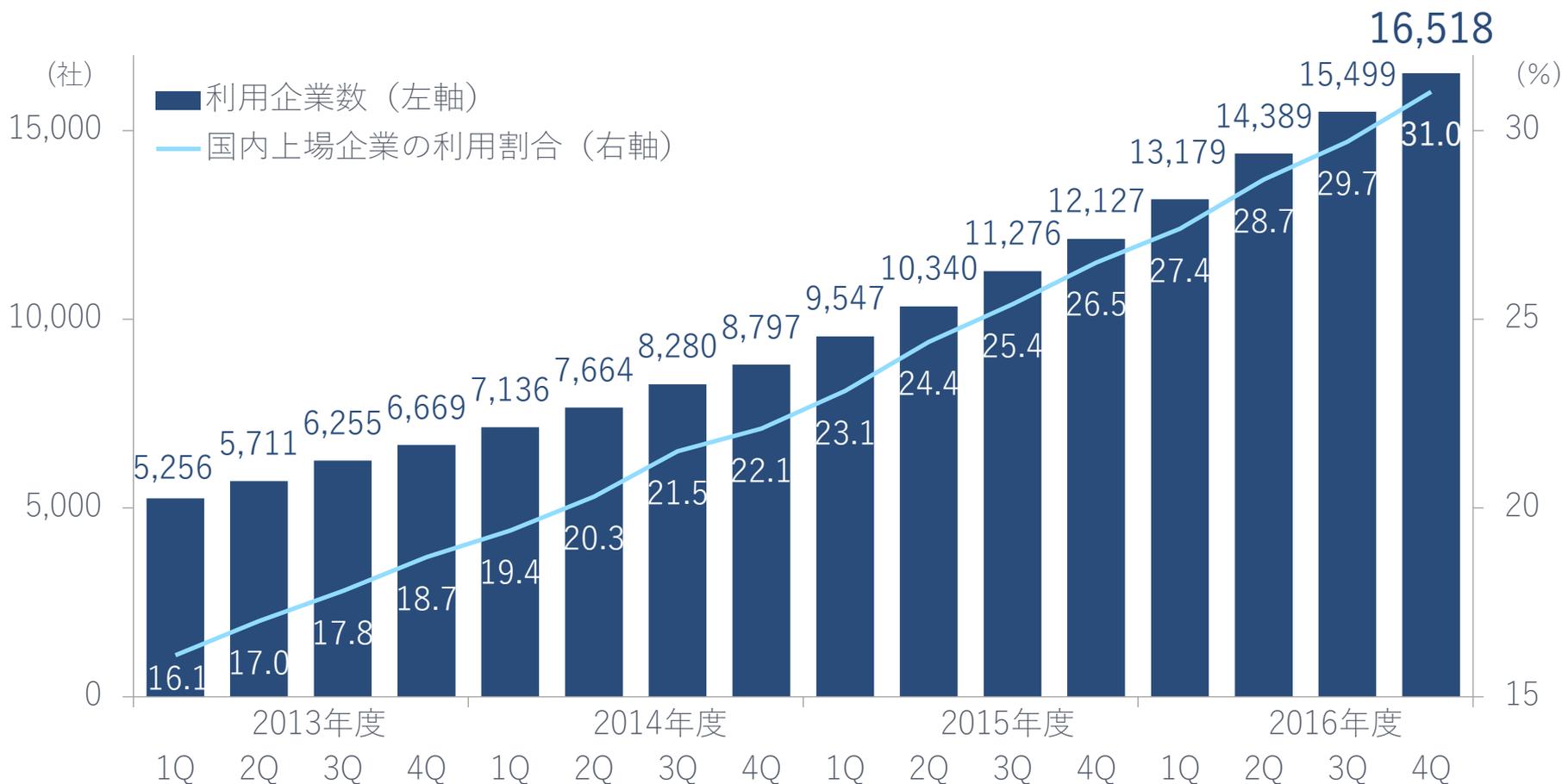
Viling Venture Partners

※2017年2月末時点

- 2017年1月17日にローンチ、開始後三十数日で300社突破
- 顧客基盤を活かして、2017年度中に利用企業社数5,000社を目指す



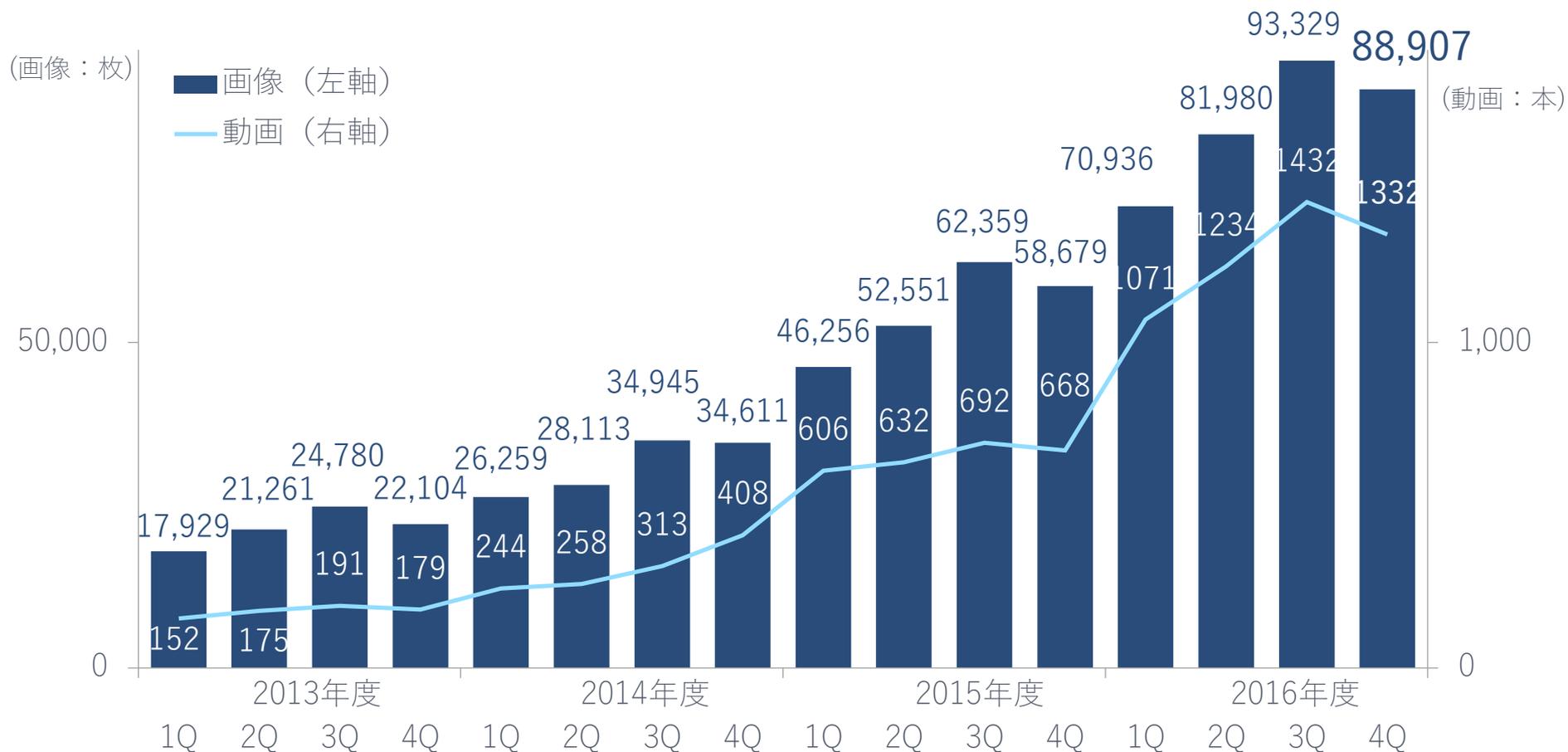
- 利用企業数が1万6千社を突破（前年同期比4,391社増、前四半期比1,019社増）
- 上場企業のうち31.0%（1,134社／3,654社）が利用



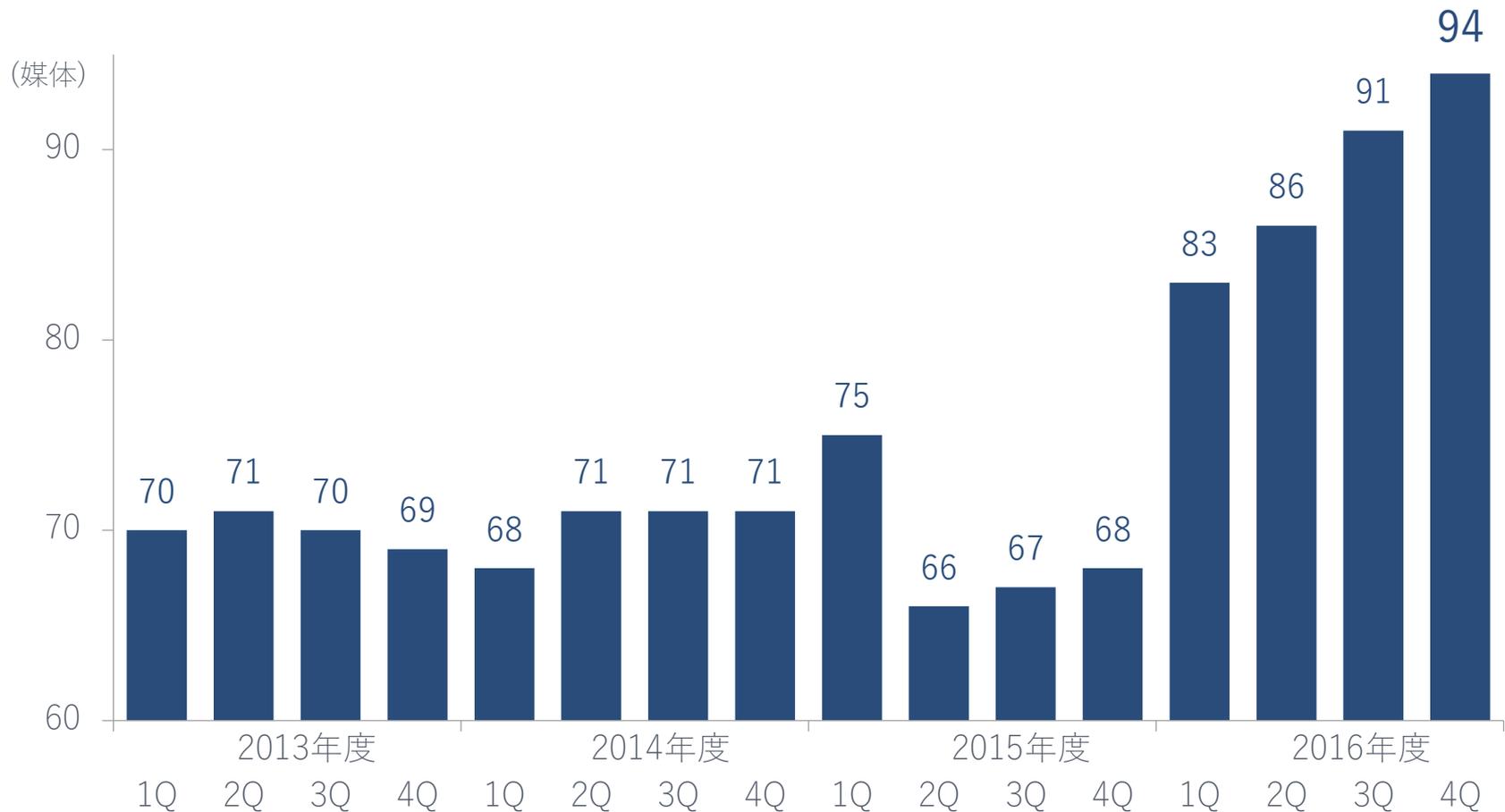
■ 第4四半期は年末年始など季節要因の影響、前年同期比で順調に推移



■ 第4四半期は年末年始など季節要因の影響、前年同期比で順調に推移



■ 小学館「Men's Beauty」「PETomorrow」、国際ニュースアプリ「News Republic」が加わる



01

2016年度 通期決算

02

2016年度第4四半期 四半期決算

03

2016年度第4四半期 サービス動向

04

2017年度 業績予想

05

2020年度に向けた展望

- 売上高・各利益において前期比大幅増を予想
- 当面、事業投資に充足することが株主に対する長期的な利益還元を最大化

	2017年度 業績予想	2016年度 実績	前期比
売上高	16億90百万円	13億55百万円	124.7%
営業利益	3億50百万円	2億50百万円	139.5%
経常利益	3億47百万円	2億37百万円	146.0%
当期純利益	2億39百万円	1億54百万円	155.0%
配当予定	1株当たり0円	1株当たり0円	—

01

2016年度 通期決算

02

2016年度第4四半期 四半期決算

03

2016年度第4四半期 サービス動向

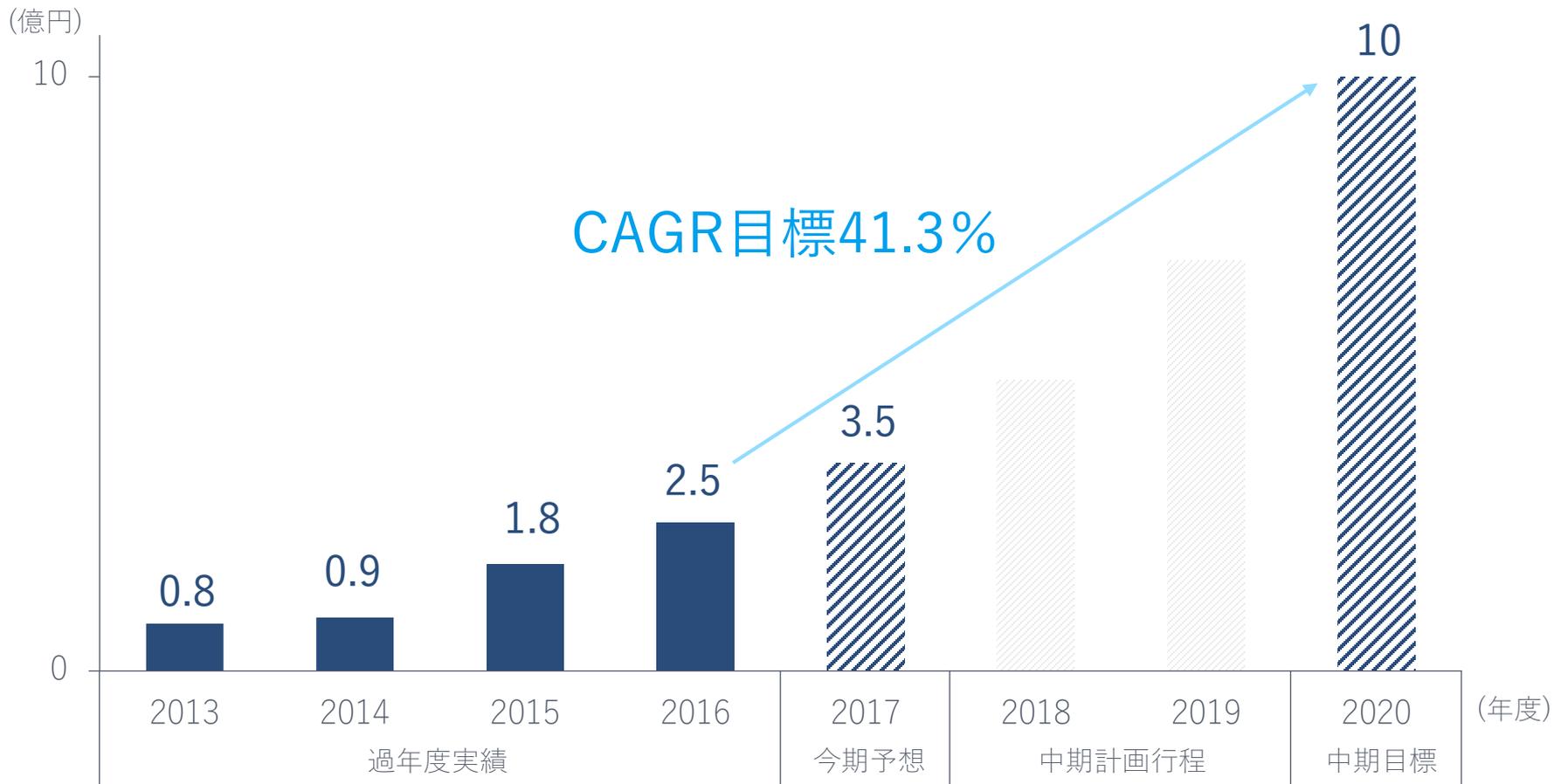
04

2017年度 業績予想

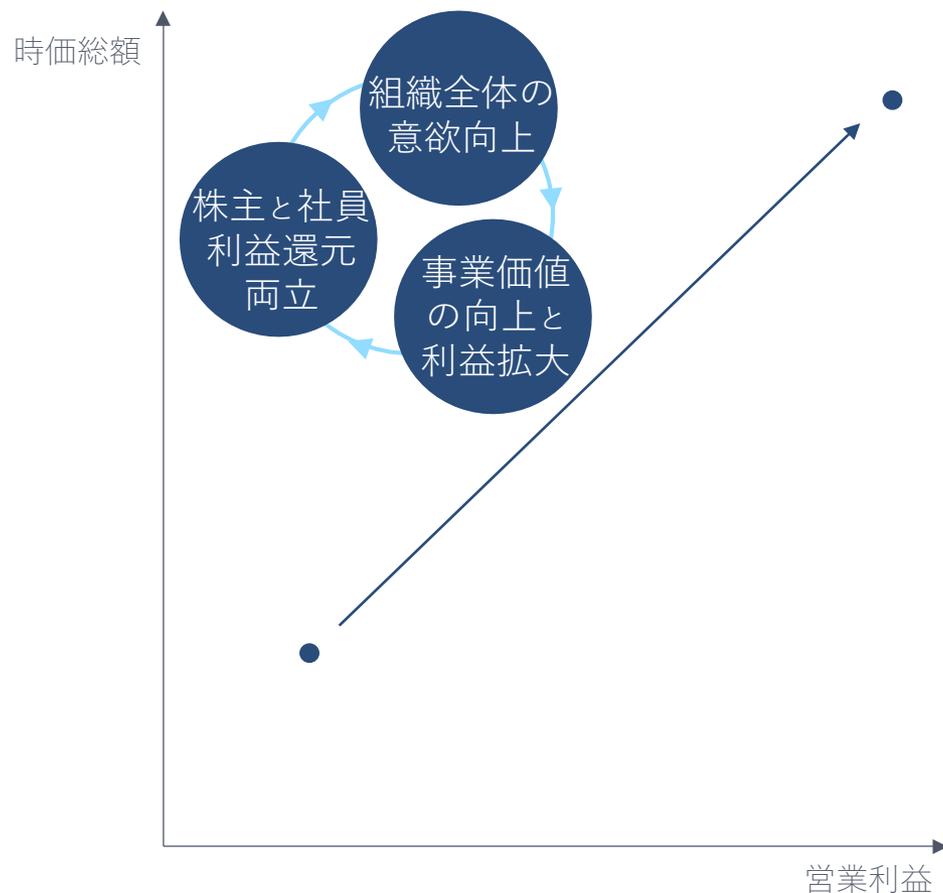
05

2020年度に向けた展望

- 2016年度までの直近3期間CAGR実績は45.4%
- 2020年度営業利益10億円の達成には、平均成長率（CAGR）41.3%が必要



- 業績コミットメント & 信託活用型ストックオプションを導入
- 潜在株式144,000株を発行、業績達成並びに社員の貢献度に応じて事後付与

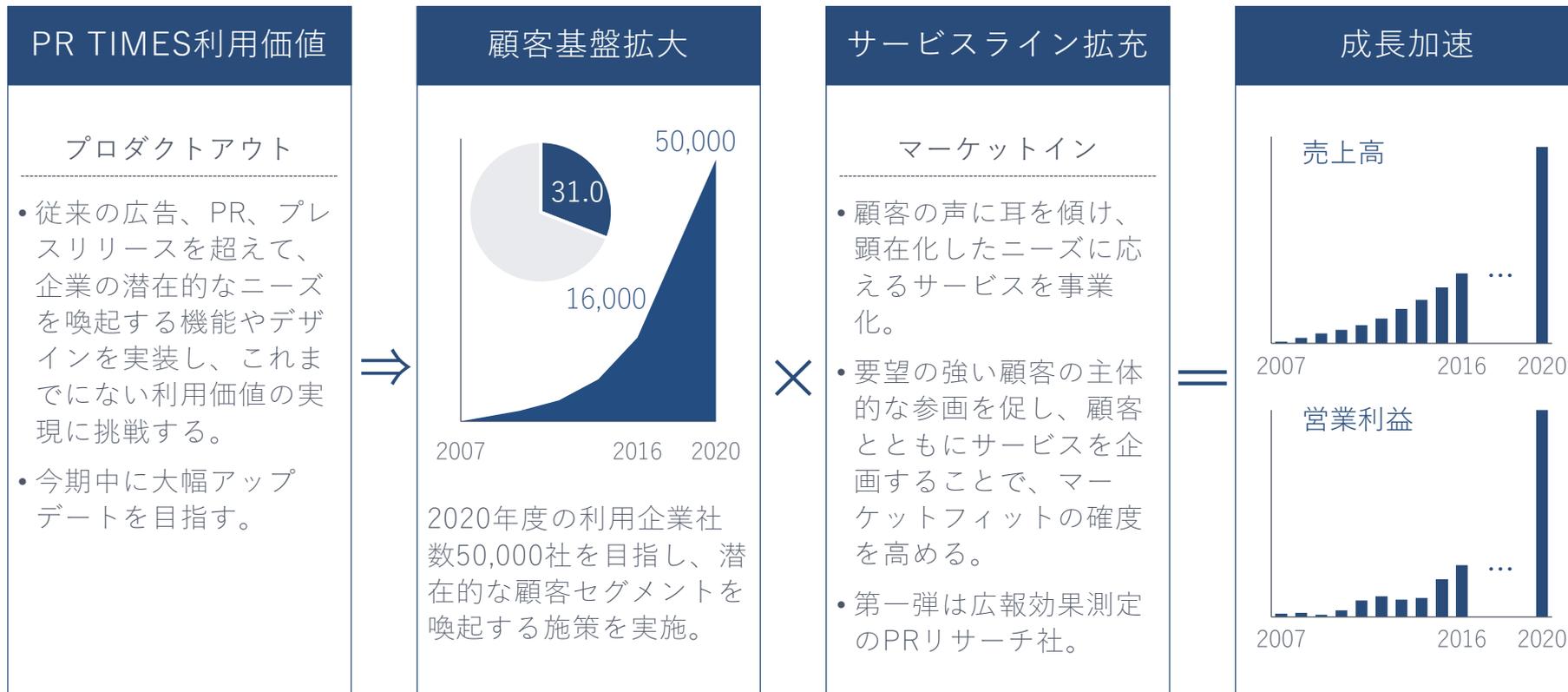


業績コミットメント型

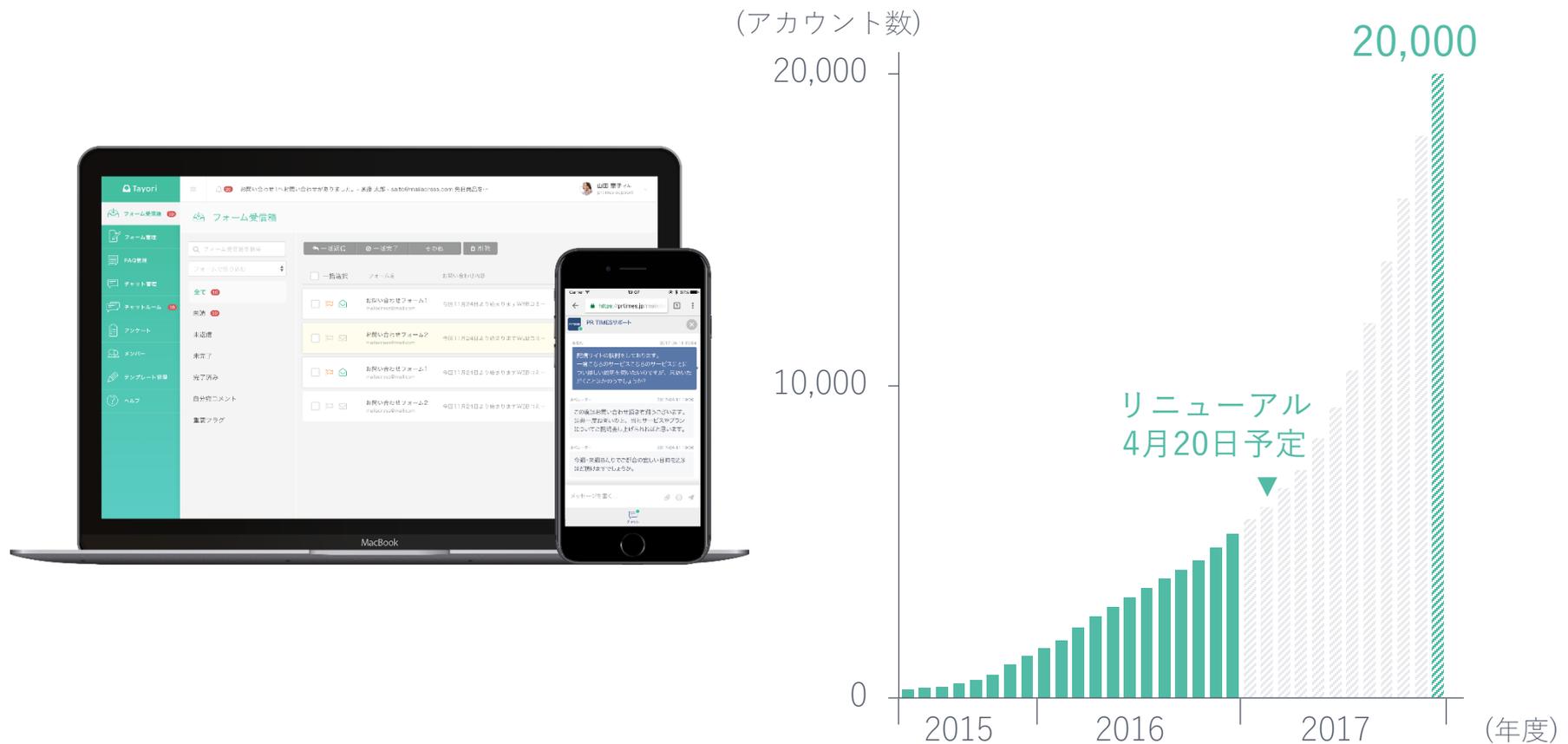
決算期	営業利益	付与割合
2019-2020年度	10億円	100%
	9億円	90%
	8億円	80%
	7億円	70%

信託活用型

- ① 将来入社する社員含め全正社員へ付与することで、組織全体の士気や意欲の向上を図る
- ② 事業を創造・変革する人材や経営者人材が台頭する期待と、大きな利益貢献への還元
- ③ 優秀な人材の獲得や、M&Aの交渉力向上の誘因となる効果



- 2016年度末時点で5,236アカウントから2017年度末に20,000アカウントへ
- 4月20日のリニューアルにより有料プランを機能拡充、有料課金率5%を目指す



行動者発の情報が、人の心を揺さぶる時代へ

インターネットが人の生活に入りこみ始めて四半世紀。
一人ひとりが情報を編集・発信できるようになった。
そして、テクノロジーによってかき集められた情報が
無造作に拡散されることも増え続けている。
本当に必要な情報や本当に触れたい感情や想いに出会う確率は、
残念ながら、総じて減ってきている。

揺るぎない真実は、何を言ったかではなく、何をしたか。
その行動は嘘をつかない。

ゆえに、行動者の情報価値が高まっていくことに、
インターネットやテクノロジーの力が発揮されることに意味がある。
頑張りに直結した情報が、最も確かで人の心を揺さぶる潮流を生み出す。
スポーツでも芸術でも、政治でも経済でも、そして、仕事でも家庭でも。
それが、大きいことでも、小さいことでも。

行動者発の情報の質と流通速度が上がっていくことで、
それが世の中の情報のメインストリームになれる。
そこから生まれる物語が、想いが、
一人ひとりの、そして、世の中の心を揺さぶっていく。
ポジティブなエネルギーが循環していく。
そのプラットフォームになることが私たちの使命です。

本資料の端数処理につきましては、百万円単位未満の表示は切り捨て、%（パーセント）の表示は小数点第1位未満四捨五入を原則としております。

本資料に記載した意見や予測は、資料作成現時点における当社の見解であり、その情報の正確性を保証するものではありません。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があることをご了承願います。

PR TIMES